

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 160 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2025 年 02 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

最強寒波は「大寒」「立春」を過ぎてから！

1 月の定例作業日 (1/28) は、

前週からの「雨または雪」予報が外れ、夜明けとともに好天気。朝の空気はちょっと冷たかったけど、春の空気おだやかさ・・・。

当日の参加者は 15 名。

林内班 9 名は、第二駐車場周辺区域の整備。

ゴミ班 6 名は、同じ区域内の集中ゴミ・中型ゴミをリヤカーで運んだ後、新園路を湿地まで往復しました。コース記号は、イ-N-K/-L-j-i-ローi-j-L-K となります。

第二駐車場近くの林内には、ガスボンベなどの残留ゴミが未だありますが、次回からは通常の巡回コースでのゴミ拾いを予定しています。

なお、湿地は、枯れ草をよけるとわずかな湿り気のある土が見えました。



[01/28 集合写真]

まずはゴミ班の**水島さん**からの報告・感想です。

『とても良い天気で、風

もなく暖かい一日でした。

ゴミ拾い班は、林内作業の林の奥に放置してあるゴミを拾いましたが、かがみこんでの作業で、直ぐに腰が痛くなりました。

翌日の朝も痛みが感じられ、歳のせいかわりが遅くなりました。

数年前に投げ捨てられたと思えるゴミの残骸が、落ち葉の下に埋もれていて、大きな物は取り出すのにかなり難しく大変でした。

私は空き缶が多かったでしょうか、落ち葉の中を探りあてると缶の中に泥がこびりついて重く感じられました。

ガラスの破片もあり用心しながら拾い集めましたが、心無い人が後の処置も考えず投げ捨てたと思うと、腹ただしくなります。

5~6 袋になったでしょうか、リヤカーに積んで旧管理事務所前に運びました。

それから湿地です。

きれいに雑草が刈り取られていて、いつもより広々とした感じがしました。

真ん中に立っている桜の木の周りを歩いてみましたが、枯れ草が纏わり付いていたり、木の枝もすっかり枯れて

いて元気のない姿でした。

これで春には緑の葉が沢山ついて桜の花が咲くのかなと、心配になって来ましたが、でも春になれば、新しい息吹とともに元気になり私たちの目を楽しませてくれるだろうと、期待しながら湿地を後にしました。』



[01/28 枯葉の下から...]



[01/28 リヤカーに積んで...]



[01/28 湿地の桜]



[[01/28 ゴミ班集合]



[[01/28 ゴミ集約]

次いで、林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。

『気温は2度と低かったが無風、快晴を思わせる天気模様に元気づけられるように出かけた。何時ものことだが途中の森の様子を見ながら向かうと、なんか何時もと違う雰囲気を感じたので・?少し注意深く見渡すと、どうやら大きな枯れた樹が伐採され空間が出来たせいだと判った。

今日も造園会社による伐採が行われており、チェーンソーのエンジン音が森の奥から聞こえた。いつまで続くのか判らないが我々の活動地やボーイスカウト活動予定地ばかりでなく、その他の場所にも未だ多くの枯れた樹が散見されていることから、当分続くのだろう。

定例活動日のこの日集まったのは、新年を迎え初顔合せの人も加えて15人となった。

高齢で常連の人が殆どだが、風邪や流行のインフルエンザに罹患せず元気な顔と顔

がそろい先ずは安心。

ゴミ収集班6人、林内班9人の編成だが、この日は何時もと異なりゴミ収集班が林内班のエリアでゴミ収集をすることになった。林は一面落ち葉に覆われており表面的にはゴミは全く見られないのになぜ?と思ったが間もなく勘違いだったと知る。収集班が作業を始めいきなり掘り出したのが大きなマットレス(布団)。次に周辺から続々出て来たのは波トタンなどのプラスチック類、一番多かったのがガラスの破片や一升瓶など危険物が続々、想像を超えた危険物の種類と量、これまで林内班の活動で片付けたつもりだったのに、未だこんなに埋まっていたとは。その成果?たるやリヤカー一台相当量となった。眼に見えないだけに未だ油断出来ないようだ。

収集班の奮闘ぶりを横目に林内班は前回に続き刈り払い機と人力による下刈り作業と林内の眺望を妨げているカシ類など常緑樹の下枝の伐採なども行った。作業後林内を見渡せば第二駐車場から原っぱ広場方向、また健康用具の設置されている芝生地側から桜木神社通りの先の住宅群が見えるようになり見通しが良くなり全体が明るくなった。

次回以降はフォオレスト所沢の霊園の方向も眺望の改善をしたいと考えている。

天気予報とは裏腹に三月中

旬の陽気と差し込む強い日差し、しかも無風とあってこの季節に珍しく薄ら汗をかき爽やかな気持ちの作業日だった。』



[01/28 林内班集合]



[01/28 林内作業-1]



[01/28 林内作業-2]



[01/28 林内作業-3]

~~~~~

### 1月の第二業日(1/14)は、

朝は冷たい北からの微風でしたが、作業途中から南系の微風となりました。

本日の参加者は16名。

林内班は11名で、第二駐車場東側区域で常緑樹の伐採をはじめとした整備。一連の作業で、一帯の見通しが良くなり、古いゴミが目立つようになりました。



[01/14 集合写真]

林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。『起床時の最低気温は零下1度、最高気温11度と冬ならではの寒さ。

日の出とともに強い陽光が差し込み新しい年を迎え、初の活動日としては申し分ない快晴に心躍る高揚感を胸に出かけた。

途中湿地帯付近では造園会社が伐採の準備中。園路の両側の林は殆どが葉を落としさながら冬枯れ状態だったが、年に一度の景色にこの季節ならではの独特の風情を感じた。さらに桜木神社通りからボーイスカウト活動予定地までの右側一帯も同じで、依然枯れたコナラがざっと数えても20本近く見える。梢に細い枝を残し春の芽吹きを待つ

樹と、明らかに枯れて骸骨化している樹が隣り合っている姿は痛々しい。老いた己の姿にも重なって複雑な気持ちにさせられた。林の奥にあるので直ちに危険は無いとの判断もあってそのまま残しているのだろうが、一日も早い処理して欲しいと願うばかりだ。その後第二駐車場方向へ進み昨年の作業で何か所かに集積してあった場所の枝葉類の山も片付けられており綺麗になっていた。旧公園管理事務所へも寄って昨年末緑町の管理事務所の岩田さんをお願いしたチェーンソーと刈り払い機の替え刃とCRC潤滑油も棚に全部そろえてくれてあった。

集合時間頃には風も止み、晴々れの青空のもとに集まったメンバーは16人、一人また一人と集まる度に新年の挨拶を交わしながら互いの元気を確かめ合う和気藹々の雰囲気は空の青空にもまして晴々しい気分させられた。

全員そろったところで深澤代表から新年の挨拶、また前日に当地で行われた市民グループによるイベント「武蔵野の里山ぐるぐるフェスタ」に協力参加した時の様子の報告があった。相当数の子供達の参加で賑わったとのこと。この時の様子は当日の読売新聞の地方版に囲み記事として掲載されていた。

集まった16人は林内班11人、ゴミ収集5人に分かれて

活動開始。

林内班はこの日も第二駐車場に隣接した一帯、作業は主に常緑樹下枝の伐採だ、低く垂れている下枝を取り除き見通しを良くする作業、他は笹類や低灌木の刈り払いや剪定を手分けして行った。

カルチャーパークを訪れた人達に林全体が一望に見渡せ安全で開放的な空間を存分に味わってもらいたいとの発意があり、特に脚立とチェーンソーを準備したうえ作業時の安全確保と連携など申し合わせて着手した。

結果駐車場から原っぱ広場方向の林内の様子が一望に見えるようになり「やって良かったね」との声もでるなど新年初の作業日に相応しい一日だった。』



[01/14 林内班集合]



[01/14 林内作業-1]



[01/14 林内作業-2]

ゴミ班は5名で、前日にイベントが開催された原っぱ区域を一周してから、東西通り・サッカー場通り・湿地・霊園通り・桜木神社通り第二駐車場と回りました。

コース記号は、K-M-L-1-F-a'-k-i-ろ-i-C-U-C-B-W-b'-b-g-g'-A-d-N-K です。

第二駐車場東側の林内のゴミ一部は回収しましたが、かなりの量の残りを、月末の次回作業日(1/28)に回収する予定としました。

なお、湿地は枯れ草をかき分けるとわずかに湿り気がありました。



[01/14 ゴミ班集合]



[01/14 ゴミ集約]

~~~~~  
1/13「武蔵野里山グルグルフェスタ」が開催されました。
大盛況でした！

*** 10 時～: 落ち葉はき**

あまりにも参加人数が多いので、2班に分かれて実施。場所は、東西通りの西側から…。



[01/13 落ち葉掃き-1]



[01/13 落ち葉掃き-2]



[01/13 落ち葉掃き-3(運搬)]

*** 11 時～: 自然観察会**

コースの近くで、ドスンと大きな音がして、倒木がありました。

こちらも大人数で、後ろの方は説明が聞こえたのかな～。

*** 12 時～: バイオネスト造り**

大人数の親子が参加。前半 40 分の作業。後半 15-20 分はお遊びタイム。

なお、応援隊か

前市長、現市長、市会議

員、国会議員なども来てました。



[01/13 バイオネスト造り-1]



[01/13 バイオネスト造り-2]



[01/13 枯れ枝でお家]

*いつもの自分達の作業と違い、参加者の補助をするという点では、心構えも準備も足りなかったようです。たとえば、イベント規模、対象年齢に対応した道具の準備、十分な説明などなど…。

*「人数が多く時間がない」が、現場で対応した実感でした。

*当日参加者の Power は、市民の自然とのふれあいへの渴望の表れともいえます。参加者から「次はいつやるのか」

と聞かれたりもしています。
是非とも振り返り・反省を踏まえて、次の企画を検討したいものです。

*高齢者集団同士が日常の私
たちにとって、若い世代がこ
れだけいることを、改めて認
識し 感動した次第です。

なお、好天と怪我のなかつたことは幸いでした。

(ミッチャン記)

2月の作業予定

定例作業日:2月25日(火)

第二作業日:2月11日(火/休)

作業時間_9:30~11:30

*作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

*持ち物:手袋、タオル、雨具、飲
み物、念のため、保険証・お薬
手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前
に中止連絡しますが、微妙な場合現
地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで
[090-8014-3310]連絡下さい。

2025年2月以降の作業予定日-

2/11(火・休) 2/25(火:定例)

3/11(火) 3/25(火:定例)

3/中~下旬:応援隊総会的懇談会

4/15(火) 4/29(火・休:定例)

5/13(火) 5/27(火:定例)

各種感染症注意!!

コロナをはじめとして、インフルエンザや各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

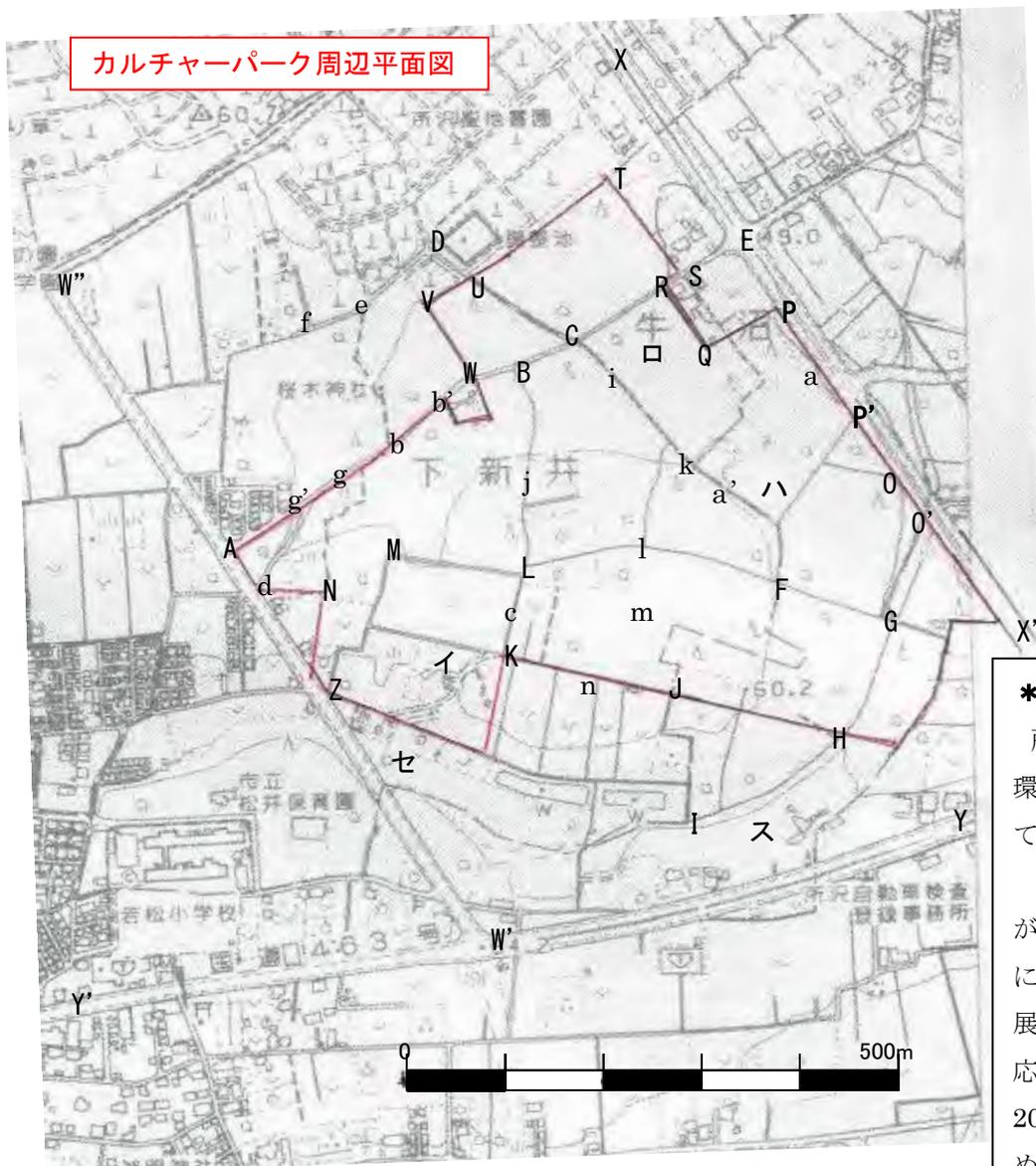
新型コロナ発生時の対応

- ①毎回参加者名簿を作成する(三浦さんがつけている出欠簿による)。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ.症状があり、検査を受けた時。
ハ.検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

感染予防対策、

- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用:各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
I-H	産廃裏通り	

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。